

研究機関：広島大学

研究課題名	早期離床リハビリテーションが術後の身体や精神に及ぼす影響
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究期間	2020年8月5日倫理委員会承認後 ～ 2023年3月31日
対象者	2019年4月から2020年3月までに、広島大学病院で心臓血管外科手術を受け、術後に外科系集中治療室（SICU）に入室された患者さん。
意義・目的	手術後は数日臥床しているだけで身体へ悪影響が発生するといわれています。その予防として早期リハビリテーションによる早期離床が重要とされています。また、早期離床は術後の身体や精神にも影響を与えると考えられます。我々はリハビリテーションをより効果的に行うために、身体能力簡易評価法であるIMS（集中治療室における患者の身体能力の簡易評価）に目標値を設定しています。今回、目標IMSの設定がSICU退室後の身体や精神に及ぼす影響を検討します。また、目標IMSが妥当であるか否かを検証し、SICUでの取り組みの有効性や欠点を明らかにしたいと考えています。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 その内容は年齢、性別、入室前活動度、APACHEスコア、人工呼吸器装着の有無、SICU入室中のIMSなどです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院 大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-1708 広島大学病院看護部 看護師 中岡 沙織